

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第615号（平成28年2月24日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

平成28年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募開始
～海運を活用した低炭素型静脈物流システムの構築に必要な経費の補助～

【国土交通省 平成28年2月19日】

【環境省 平成28年2月19日】

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PT 次回WG開催のお知らせ
2. 平成27年度 調査・研究部会開催のお知らせ
3. 国際資源循環勉強会（仮称）開催のお知らせ

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 国交省港湾局技術基準あり方検討委、30年度改訂へ方針まとめ
2. 川崎市、下水汚泥焼却灰を浮島2期地区処分場へ試験的埋立
3. 金城ふ頭の埋立でアセス方法書縦覧中
4. 低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始

《今週の報道発表》

平成28年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募開始
～海運を活用した低炭素型静脈物流システムの構築に必要な経費の補助～

詳細は下記をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000112.html

【国土交通省 平成28年2月19日】

<http://www.env.go.jp/press/102034.html>

【環境省 平成28年2月19日】

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成28年2月25日（木）

13：00～14：00 WG⑥

14:00～15:00 WG①

15:00～16:00 WG③・④

場 所：みなと総研 3階 会議室

(WG②は開催しない)

2. 平成 27 年度 調査・研究部会開催のお知らせ

平成 27 年度の調査・研究部会を下記日程で開催しますのでお知らせします。

記

日 時：平成 28 年 3 月 1 日（火）14:30 から 1 時間程度

場 所：（一財）みなと総合研究財団 3F 会議室

* 部会終了後、下記の国際資源循環勉強会及び意見交換会を開催します。

3. 国際資源循環勉強会（仮称）開催のお知らせ

国際資源循環勉強会（仮称）を下記日程で開催しますので皆様のご参加をお待ちしております。

（詳細については添付の開催案内をご覧ください）

★参加希望の方は添付の申込用紙にご記入の上、メール又は F A X にてお送りください。

★調査・研究部会員の方は、別途メールにてお送りしている申込書にてお申し込みください。

記

日 時：平成 28 年 3 月 1 日（火）

RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）・・・16:00 から 1 時間程度

講 師：一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

～（仮）日本の鉄スクラップ輸出環境の変化と展望～

場 所：（一財）みなと総合研究財団 3F 会議室

※国際資源循環勉強会（仮称）終了後「意見交換会」を予定しております。

意見交換会参加費：1,000 円/人※参加費は、当日会場受付にて申し受けます。

【事務局】

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 国交省港湾局技術基準あり方検討委、30 年度改訂へ方針まとめ

国土交通省は 2 月 18 日、「港湾技術基準のあり方検討委員会（委員長・清宮理早稲田大学教授）」の 27 年度第 2 回会合を開き、港湾施設を建設、改良する際の基準・手引きとなる「港湾施設の技術上の基準」の改訂方針について検討した。今回で委員会は最終となり、今後同方針に沿って具体的な改訂作業を進める。28 年度に改訂案を作成し、29 年度に改正省令・公示し、30 年度に施行する。

技術基準の改訂については国際競争力の強化や維持管理・老朽化対策、防災・減災対策、設計法など新たに顕在化してきた課題に対応するため実施する。また調査や構造の設計条件等を設定する際に手引きとなる「港湾調査指針」を約 30 年ぶりに全面改訂し、技術上の基準（調査編）として位置づける方針。

【港湾空港タイムス】

2. 川崎市、下水汚泥焼却灰を浮島2期地区処分場へ試験的埋立

川崎市下水道局は、下水汚泥焼却灰の浮島2期地区処分場への試験的埋立を4月以降に開始する。

川崎市では下水汚泥焼却灰について、東日本大震災の原発事故に伴う放射性物質を検出して以降、浮島2期管理型処分場への埋立を停止している。しかし時間経過とともに放射性セシウム濃度が低下しているほか、安全対策を講じることで、4月以降に発生する焼却灰に限り、試験埋立を実施することにした。

【港湾空港タイムス】

3. 金城ふ頭の埋立でアセス方法書縦覧中

名古屋港管理組合は、名古屋港金城ふ頭地先公有水面埋立に係る環境影響評価方法書を作成し、3月9日まで縦覧している。

同事業は埠頭用地を目的に面積16・4haを埋立て、前面には水深12m、延長260mの耐震強化岸壁も設置する。岸壁は重力式(A案)と栈橋式(B案)の2案を示している。

事業は埋立により荷捌き及び保管施設用地を確保して、分散・点在している完成自動車取扱機能を集約・拠点化。完成自動車の効率的な海上輸送を行い、地域基幹産業の国際競争力の維持・強化を図る。また、切迫性が指摘されている南海トラフ巨大地震等に対応するため、岸壁は耐震強化として整備する。

【港湾空港タイムス】

4. 低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始

国土交通省港湾局では、環境省と連携し、2月19日より平成28年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始した。海運を活用した低炭素型静脈物流システムの構築に必要な経費を補助する。

公募しているのは①海上輸送による低炭素型静脈物流システム構築事業、②循環資源等取扱設備導入事業で、①の事業の実施に伴うものに限る。本公募は平成28年度予算の成立が前提になる。

公募期間は、平成28年2月19日(金)～平成28年3月7日(月)午後5時必着。詳細は国交省港湾局ホームページ参照。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金(株)

部会員：山崎 和宣 五洋建設(株)

木村 竜也 東京都

梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####

「RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）」の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、リサイクルポート推進協議会活動にご協力頂き誠に有り難うございます。

この度、一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会のご協力のもと、韓国等の東アジア諸国の鉄スクラップ事情を展望し、日本における鉄スクラップ輸出環境（港湾施設整備等の必要性を含む）を考える「RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）」を下記により開催いたします。

なお、勉強会は調査・研究部会活動の一環として開催いたしますが、国際資源循環に興味をお持ちの RPPC 会員の参加をお待ちしております。

参加希望の方は添付ファイルに所定事項を記入の上、2月22日（月）までに事務局宛てにメール又はFAXにてご連絡下さい。

記

RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）

～（仮）日本の鉄スクラップ輸出環境の変化と展望～

講 師：一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

日 時：平成28年3月1日（火）16:00 から1時間程度

場 所：みなと総合研究財団 3F 会議室

※国際資源循環勉強会（仮称）終了後「意見交換会」を予定しております。

意見交換会参加費：1,000 円/人 ※参加費は、当日会場受付にて申し受けます。

★参加を希望される方は以下の申込用紙にご記入の上、2/22（月）までにメール又は FAXにてお申し込み下さい。

申込先：リサイクルポート推進協議会 事務局 担当：本野・井手・榎並

FAX：03-5408-8741 E-Mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

.....
勉強会 参加 • 不参加
意見交換会 参加 • 不参加 ※○をご記入ください

参加者のお名前：ふりがな _____

ご 所 属： _____

電 話 番 号： _____ FAX： _____

E - m a i l： _____